

リヤスカート 取付要領書

品番: D2641-59610-XX

設定型式: ZVW5#-AHX#B 設定グレード: 全車


このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、リヤスカートの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

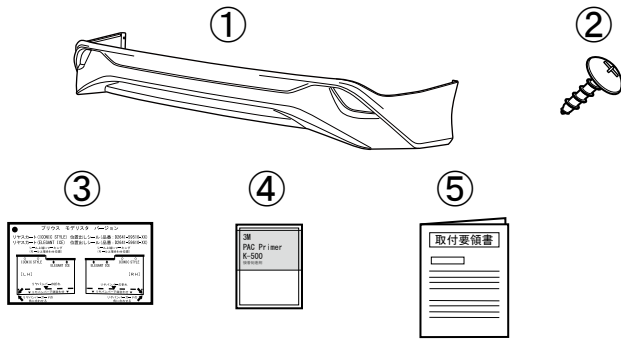
- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付れたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名づつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。(PACプライマー-K500を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、シリコンオフ等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、シリコンオフ等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。500kPa(5kgf/cm²以上)
- 重要** ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

- リヤスカートが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に**圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスカート及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低3時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとリヤスカートとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

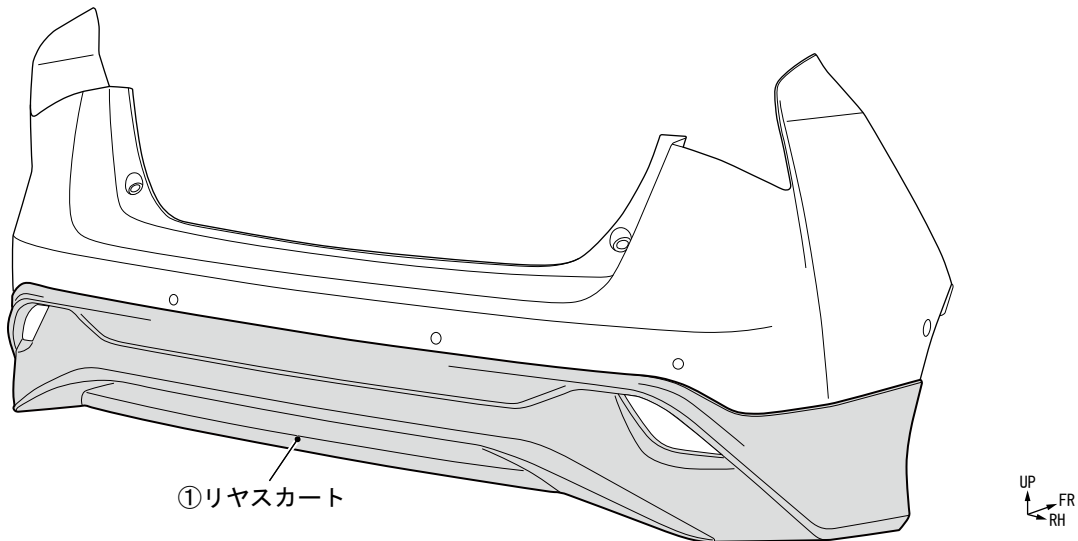


No.	品名	個数
①	リヤスカート	1
②	タッピングスクリュー (M4 x 16)	6
③	位置出しシール	1
④	PACプライマー-K500	1
⑤	取付要領書	1

⚠ 注意

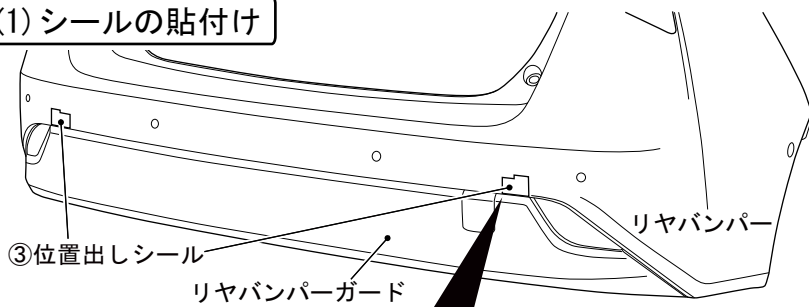
リヤスカートの取付け作業を行う前に必ずマフラー部が冷めている事を確認して下さい。マフラー部に熱を持っている場合、ヤケドをする事がありますので、十分御注意下さい。

取付概要



取付手順

(1) シールの貼付け



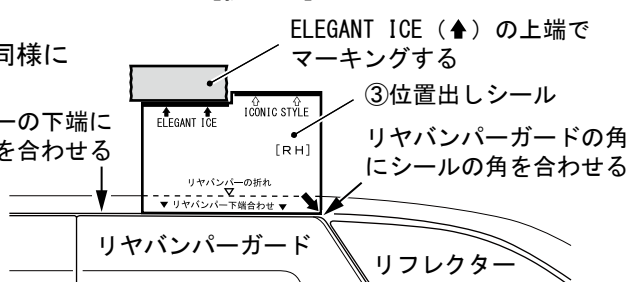
1. 取付高さの位置出しの為、リヤバンパーのリフレクター内側に左図の位置に合わせて③位置出しシールを貼り付け上端 ELEGANT ICE (▲) にマスキングテープでマーキングする。(左図参照) マーキング後、③位置出しシールを剥がす。

RH 図示

[拡大図]

※ LH も同様に

リヤバンパーの下端にシール下端を合わせる



ELEGANT ICE (▲) の上端でマーキングする

③位置出しシール

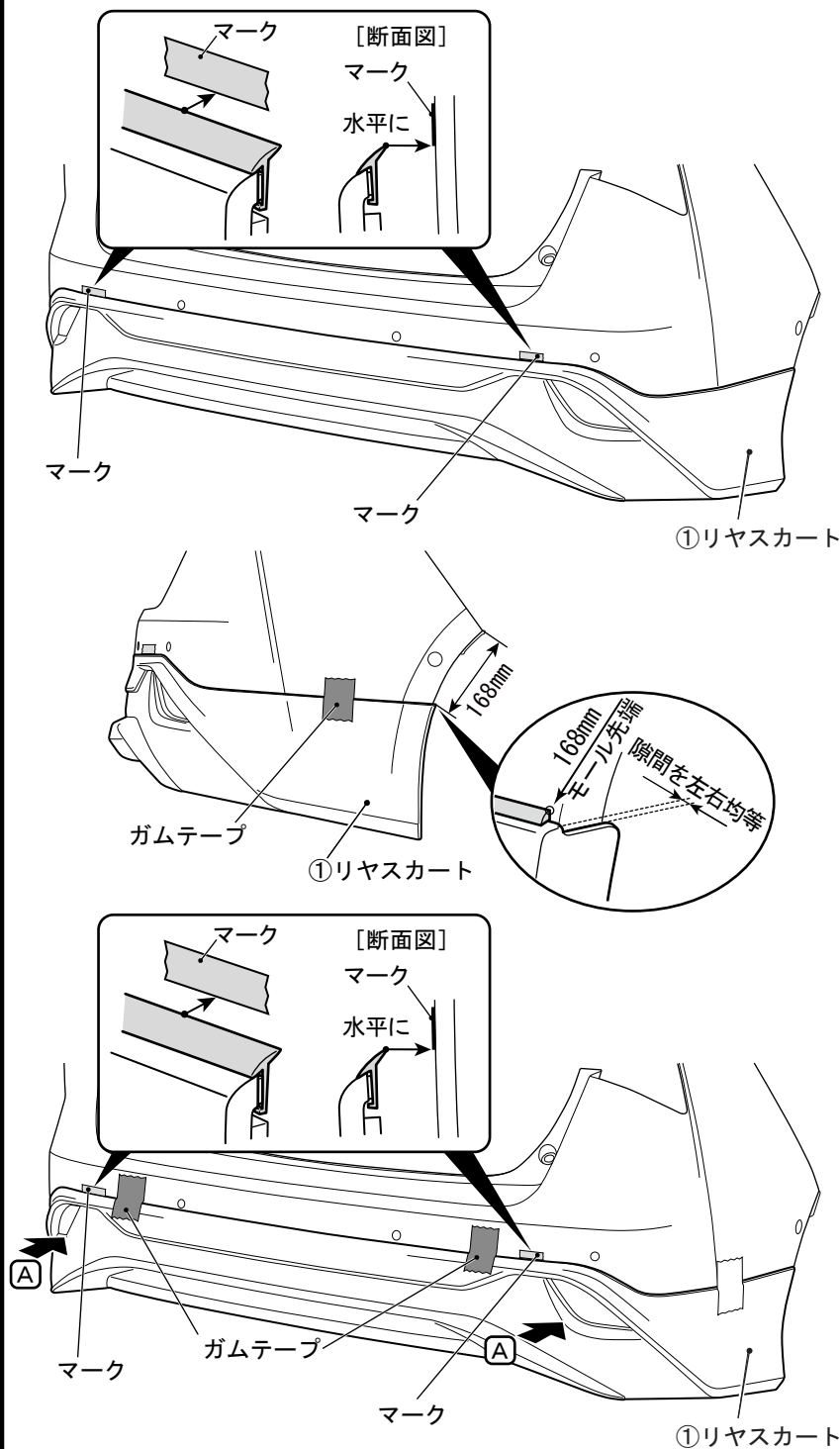
リヤバンパーガードの角にシールの角を合わせる

リヤバンパーガード

リフレクター

(2) 仮組とプライマーの塗布

RH図示 ※LHも同様に



1. ①リヤスカートを③位置出しシールでマーキングしたマーク位置にエンドモール（以下モールと省略）上端を合わせながらリヤバンパーに被せる。
（左図参照）

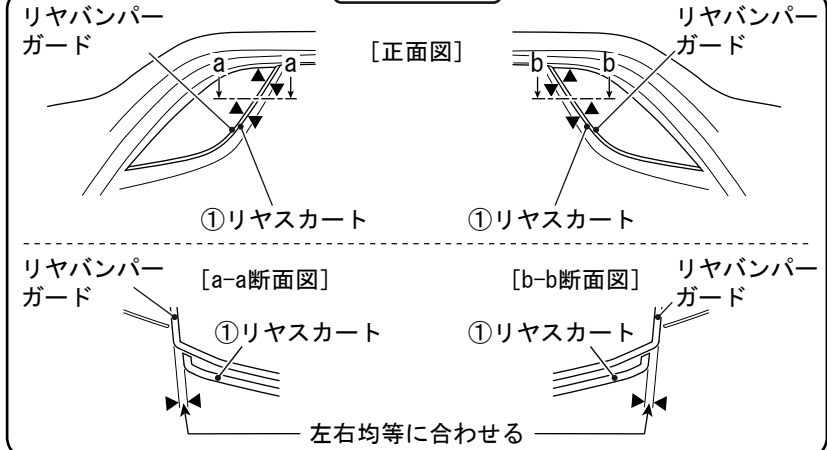
※①リヤスカートを下から押上げる様にマーク位置に合わせると、モールを巻き込む恐れがある為、モール上端の高さをマーク位置に合わせてながら水平に動かす様にして被せる。

2. フェンダーアーチ部モール先端を指示寸法に合わせ、左右のフェンダーアーチ部の隙間を均等にしてガムテープ等で仮固定する。（左図参照）

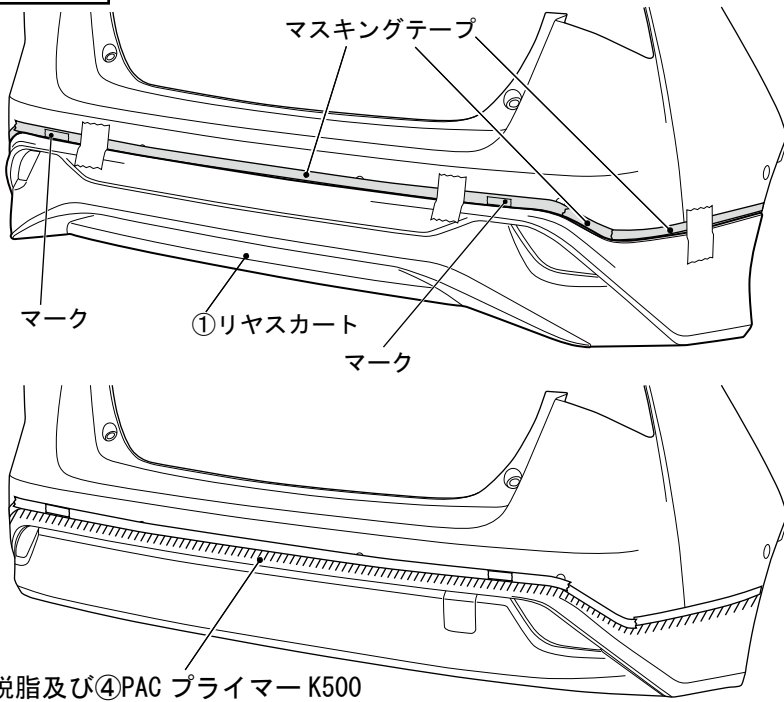
3. 左図 (A) 矢視部
①リヤスカートとリヤバンパーガードの見え方 (▶◀) が左右均等になる様にしてガムテープ等で仮固定する。
（この手順のガムテープの図中表示は濃い灰色、前の手順のガムテープは白で表示。以下の手順も同様に表示）

※モール上端がマーク位置に合っている事を再確認する。
※フェンダーアーチ部の寸法を再確認する。

A 矢視部詳細



RH図示 ※LHも同様に



脱脂及び④PAC プライマー K500
塗布範囲 (斜線部 約 30 mm均等幅)

4. 取り付け時の位置出しとプライマー塗布の為に①リヤスカートモール上端に合わせ、マスキングテープを貼り付ける。
5. ①リヤスカートを一旦取り外し、両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) を脱脂する
6. 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) に④PACプライマー-K500を塗布する。

アドバイス

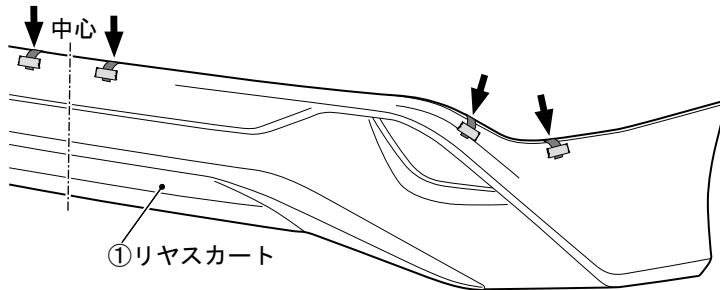
- ・④PACプライマー-K500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ・④PACプライマー-K500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

注意

脱脂及びプライマーの塗布は重要な作業です。
不十分な場合、浮き剥がれの要因となる恐れがあります。

(3) 取付準備

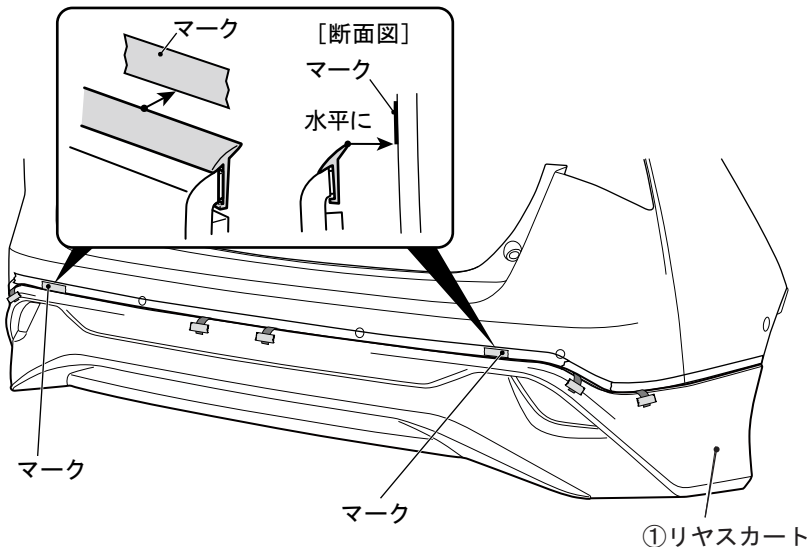
RH図示 ※LHも同様に



1. ①リヤスカートの両面テープ離型紙を中央から外方向へ一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープを貼り付ける。(左図参照、6カ所)

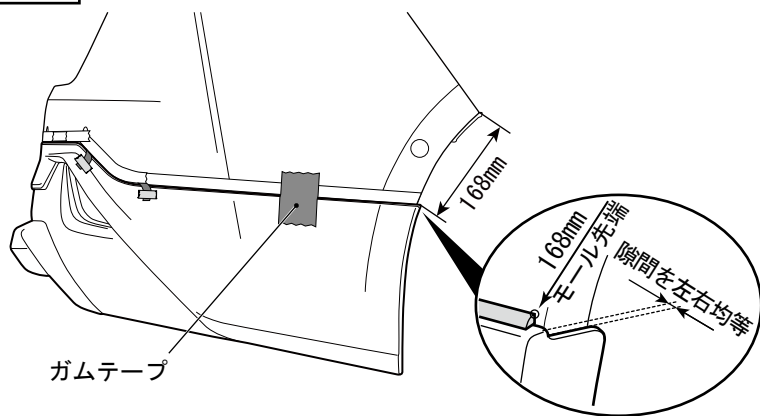
(4) 取り付け

RH図示 ※LHも同様に

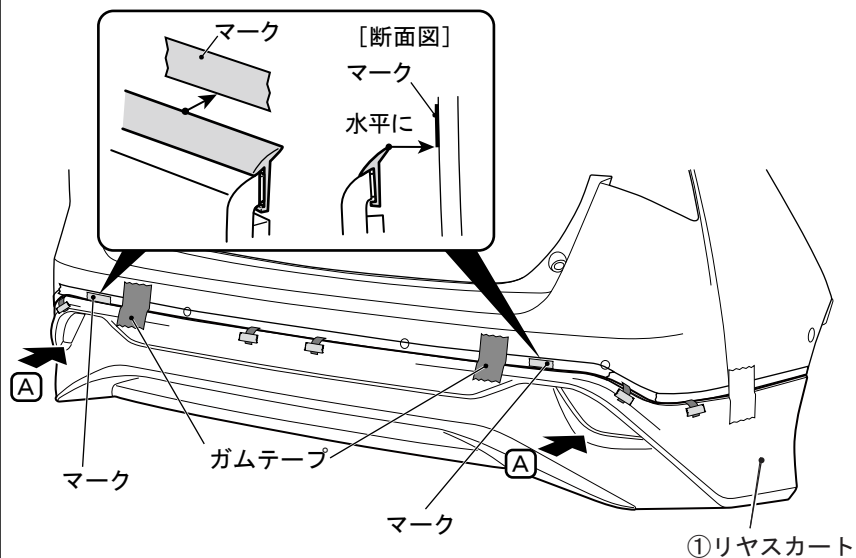


1. ①リヤスカートをマーク位置にモール上端を合わせながらリヤバンパーに被せる。(左図参照)
- ※①リヤスカートを下から押上げる様にマーク位置に合わせると、モールを巻き込む恐れがある為、モール上端の高さをマーク位置に合わせながら水平に動かす様にして被せる。

RH図示 ※LHも同様に

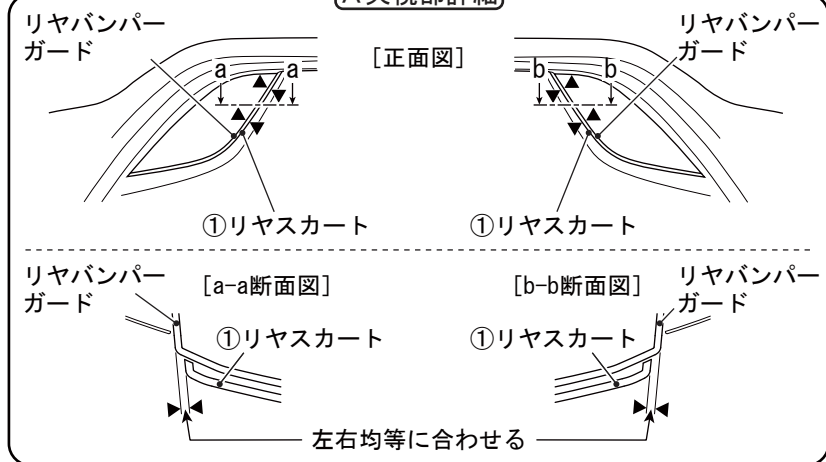


ゴムテープ



①リヤスカート

A矢視部詳細



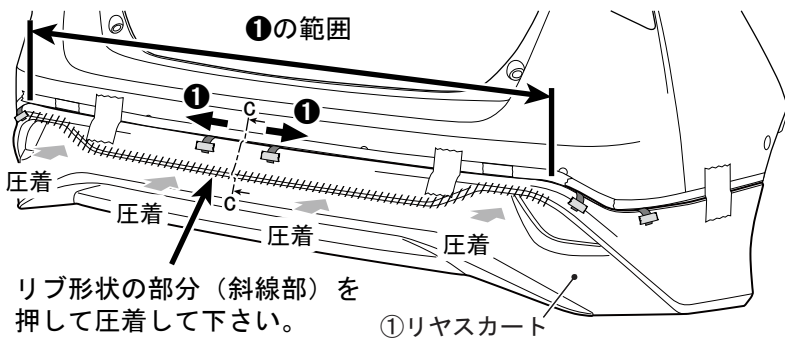
2. フェンダーアーチ部モール先端を指示寸法に合わせ、左右のフェンダーアーチ部の隙間を均等にしてゴムテープ等で仮固定する。(左図参照)

3. 左図 A 矢視部

①リヤスカートとリヤバンパーガードの見え方 (▶◀) が左右均等になる様にしてゴムテープ等で仮固定する。
 ※モール上端がマーク位置に合っている事を再確認する。
 ※フェンダーアーチ部の寸法を再確認する。

両面テープの圧着方法

※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）



4. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認して、①の両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き圧着する。
 ※①の範囲は両面テープ部を押して圧着しても接着は出来ません。
 下記 **⚠重要 圧着方法** で、圧着を行なって下さい。
 ※離型紙を引き抜く際に①リヤスカートの取り付け高さが変わらない様に注意して下さい。

⚠重要 圧着方法

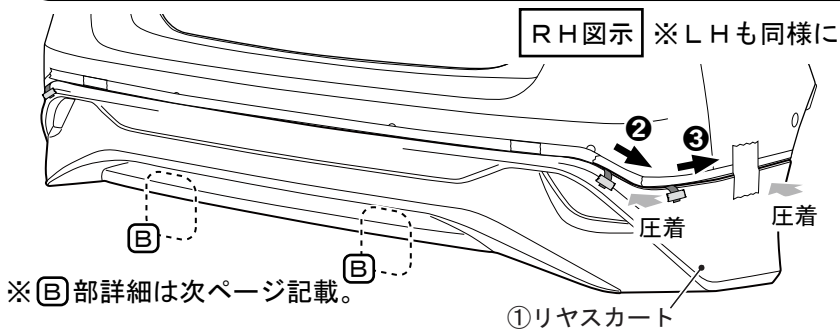
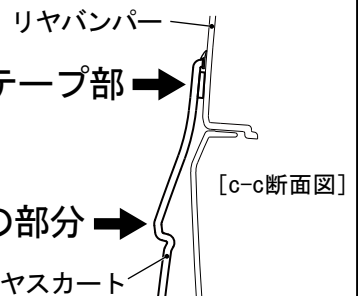
①の範囲（上図）は両面テープ部を押しても、リヤバンパーが逃げてしまい接着が出来ません。1. 2の順で圧着して下さい。

手順:1 最初にリブ形状の部分を押して圧着して下さい。

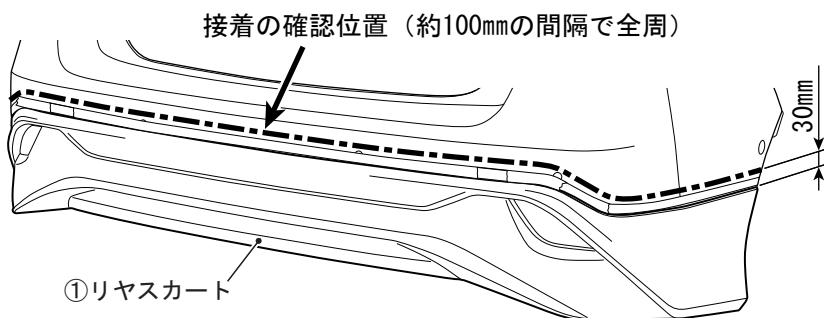
手順:2 リブ形状の部分を押して圧着した後に両面テープ部を押して圧着して下さい。

手順:2 両面テープ部 →

手順:1 リブ形状の部分 →



※B部詳細は次ページ記載。



- 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認して、②③の両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き圧着する。
 ※離型紙を引き抜く際に①リヤスカートの取り付け高さが変わらない様に注意して下さい。

👉アドバイス

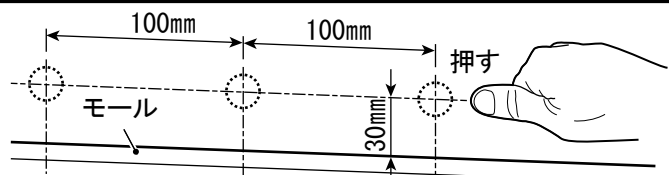
- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。設定位置に確実に取り付けてください。
- 離型紙が途中で切れない様に、①リヤスカートを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、500kPa (5kgf/cm²) 程度の力で行って下さい。

5. ①②③全ての両面テープが確実に接着出来ているか、下記 **⚠重要 接着の確認方法** で、確認して下さい。

⚠重要 接着の確認方法

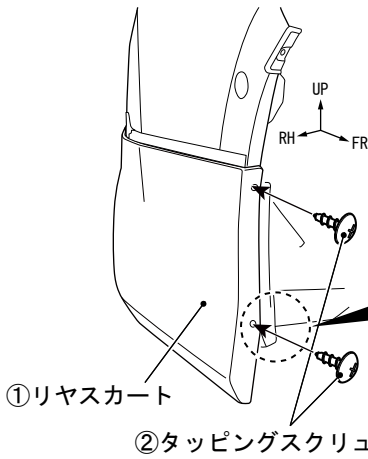
両面テープ接着の確認方法

①②③全ての両面テープの接着を確認して下さい。
 モールの上約30mmの位置でリヤバンパー面を約100mm間隔で指で押し、①リヤスカートがリヤバンパーから離れない事を確認して下さい。

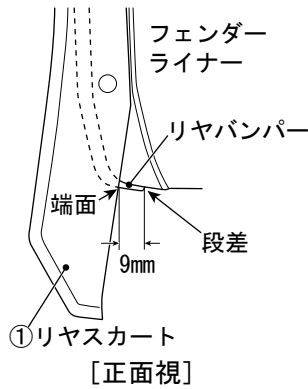


※①リヤスカートがリヤバンパーから離れる場合は再度、確実に圧着して下さい。
 接着を確認後、次の手順へ進んで下さい。

RH図示 ※LHも同様に



測定位置

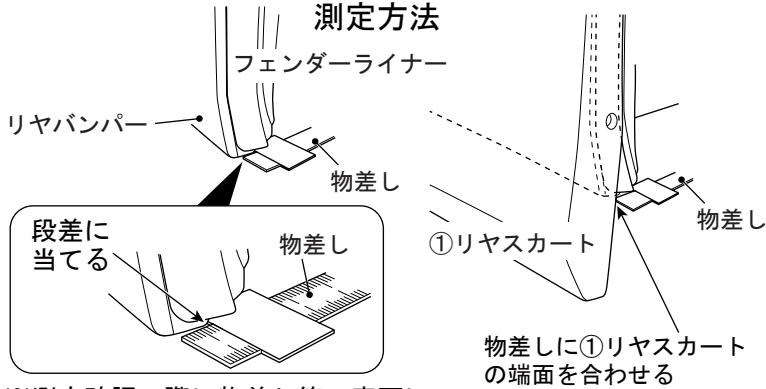


6. ①リヤスカー折り返し部をフェンダーアーチ部タイヤハウス面に②タッピングスクリューで仮締めする。
 (左右各2カ所 計4カ所)
 ※下側の穴位置はリヤバンパーとフェンダーライナーの段差から9mm(参考寸法)の位置に①リヤスカーの端面を合わせて、②タッピングスクリューで仮締めする。

アドバイス

下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

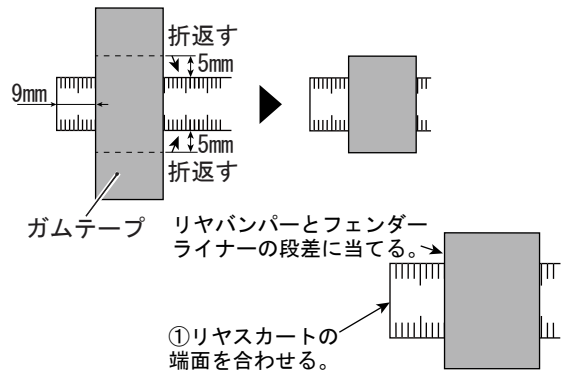
測定方法



※測定確認の際に物差し等で車面に傷を付けない様に注意して下さい。

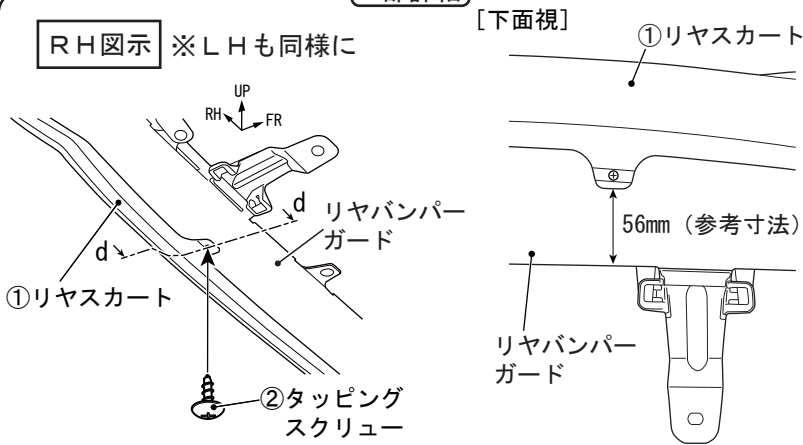
簡易測定器具

(9mmの位置に当ての形状を作る)



B部詳細

RH図示 ※LHも同様に

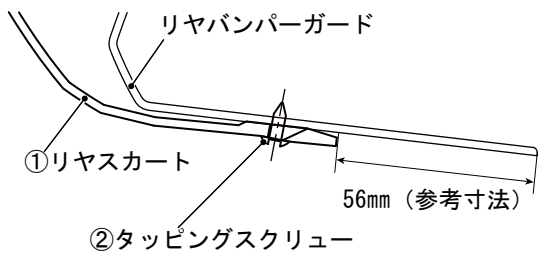


7. ①リヤスカー下面凸部の端面とリヤバンパーガード端面の寸法を確認して②タッピングスクリューで仮締めする。
 (左右各1カ所 計2カ所) (左図参照)

アドバイス

下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

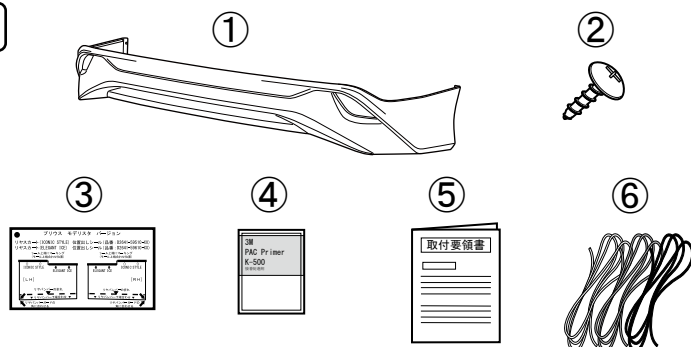
[d-d断面図]



8. 全てのマスキングテープを剥がす。
 9. 両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
 10. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。
 (6カ所)

リヤスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	リヤスカート	1
②	タッピングスクリュー(M4×16)	6
③	位置出しシール	1
④	PACプライマー-K500	1
⑤	取付要領書	1
⑥	エンドモール	Lグレー:1 グレー:1 ブラック:1

塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

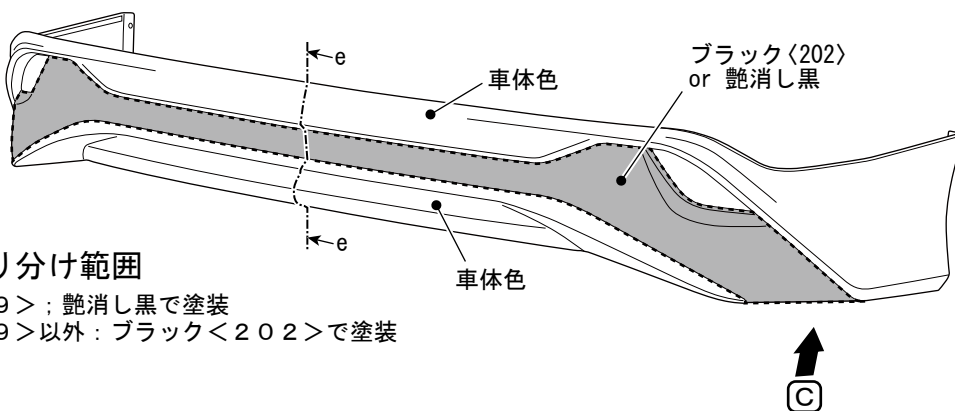
※本製品の素材は<PP>です。

4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

⑥エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1G3	グレーメタリック	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
219	プレシヤスブラックパール	ブラック
221	ブラッキッシュアゲハガラスフレーク	ブラック
3U5	エモーションレッドII	ブラック
4X1	スティールブロンドメタリック	グレー
6W7	サーモテクトライムグリーン	グレー
8X7	ブルーメタリック	ブラック

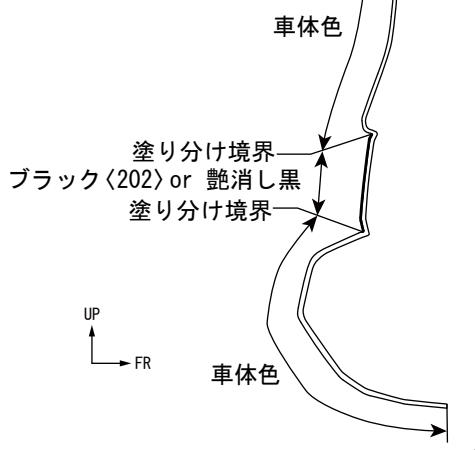
RH図示 ※LHも同様に



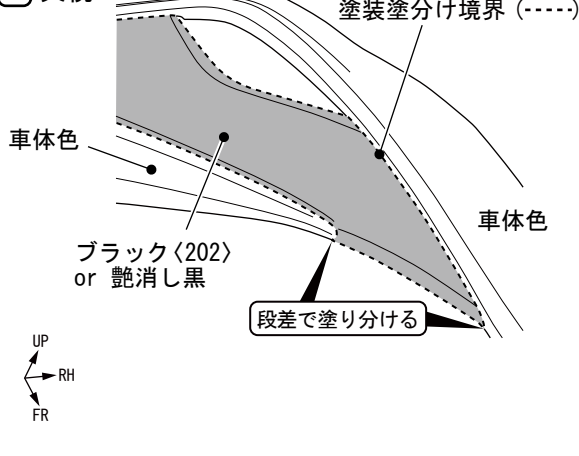
※塗装塗り分け範囲

車体色<218><219>：艶消し黒で塗装
車体色<218><219>以外：ブラック<202>で塗装

[e-e断面図]



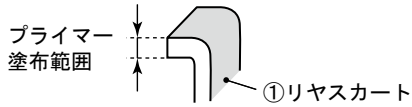
⑥ 矢視



エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑥エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、④PACプライマー-K500を塗布する。

PACプライマー-K500塗布範囲



アドバイス

- ④PACプライマー-K500は①リヤスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ④PACプライマー-K500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ④PACプライマー-K500塗布後は、常温で**10分間**以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑥エンドモールを貼り付ける。

アドバイス

- エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- 貼り付け後、十分に圧着して下さい。

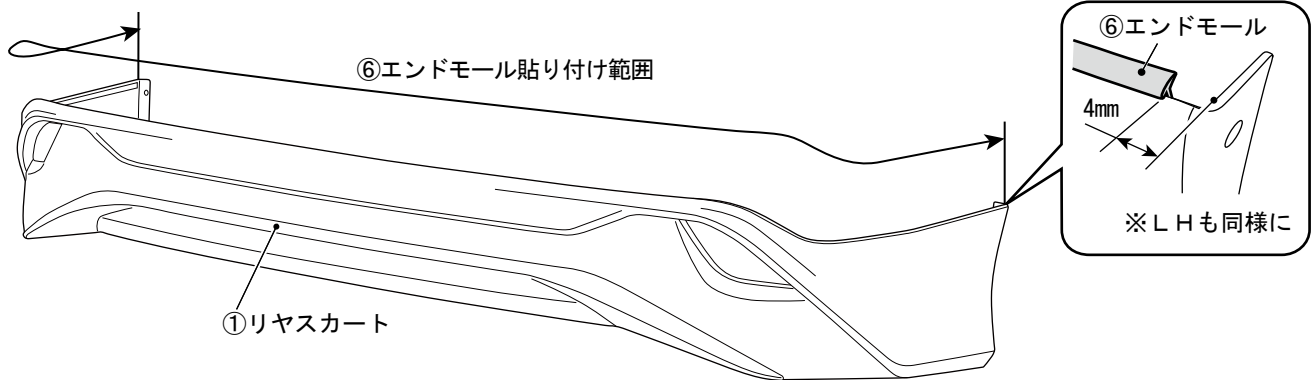
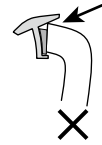
奥まで押し込む



隙間が空いている

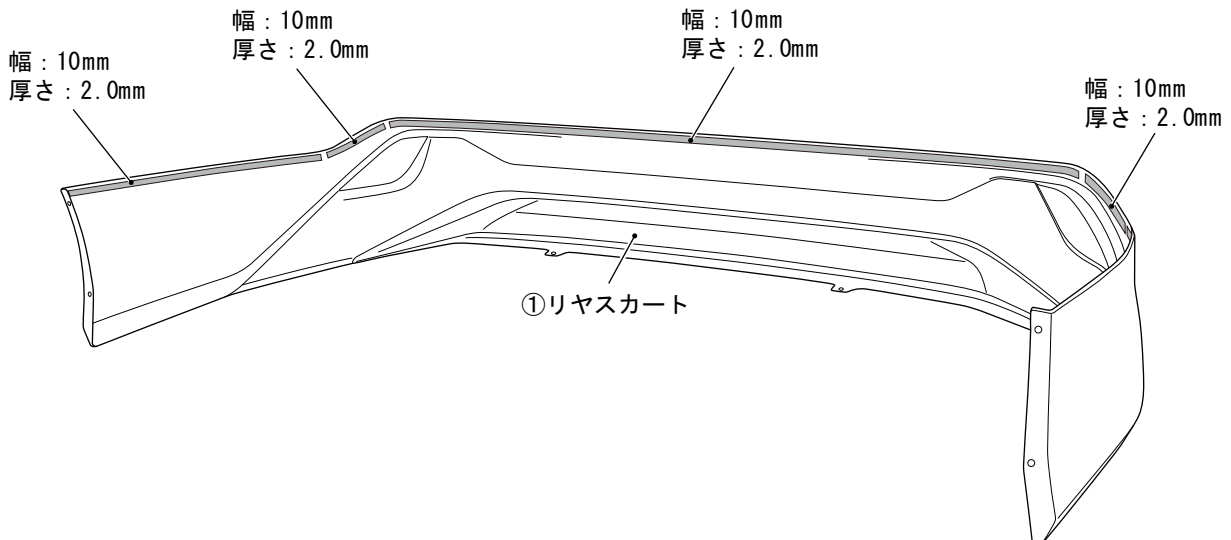


傾いている



補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①リヤスカートの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。



/取説[°] リスRR(ELE) 塗装

8000T-RS050-12

